

市民自治

安全・安心なまちづくり

子育て支援

経済・雇用対策

五月に補正予算を発表しました。  
元氣ビジョンで挙げた五つの柱の中で、早期に着手する必要があるものを盛り込んでいきます

今後の計画は分かったけど、具体的には何をやるの？

補正予算額 約46億円

特に、子供を生み育てやすい環境づくり、市民自治、経済・雇用対策、安全・安心なまちづくりなどに重点を置きました

## 平成19年度 補正予算の主な内容

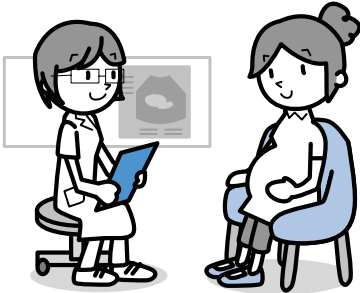
## 子育て、教育

## 子どもを生み育てやすく、健やかにはぐくむ街

1億円

## 妊婦健診の助成回数を拡大

妊婦健診の助成回数を、現在の1回から、政令市で最高の5回へ拡大します。出産予定日が来年1月以降の方が対象となります。



670万円

## 子育て支援をさらに充実

専門知識を持つ子育てアドバイザーを養成するとともに、子育てサロンを日曜に開催し、アドバイザーがスタッフとなります。

0円※

事業

## 自宅で保育士に相談できます

外出しづらい子育て中の家庭に保育士が出向き、相談に応じます。現在、中央・手稲区で試行的に実施しています。

## 子育てしやすい街に!

小さな子供が遊びやすい所なので、子育て支援総合センターをよく利用します。子供のアトピー治療の情報交換もできました。子育てについての相談場所をさらに充実させたり、すべての地下鉄駅にエレベーターを設置したりして、より子育てがしやすい街になってほしいです。



子育て支援総合センターを利用している

まぶち 馬淵 あゆみさん  
いちろう 一朗くん

## 市民自治、経済対策

## 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

300万円

## まちづくりセンターを地域で運営

地域の主体的なまちづくりをさらに進めるため、まちづくりセンターが地域で自主運営できるようにします。



まちづくりセンターは市内に87カ所

4,980万円

## IT・バイオなどの企業を誘致

近年、急成長を続けるITやバイオなどの新産業。その関連企業の札幌進出に対して補助を行い、経済の活性化と雇用の拡大を図ります。

240万円

## 区民の意見をまちづくりに反映

区民からの意見をよりまちづくりに反映するための、新たな仕組みづくりを進めます。

2億  
8,700  
万円

誰もが使いやすい  
公園を整備

出入り口の段差を解消するなど、公園のバリアフリー化を進めるとともに、車いす対応のトイレを16カ所整備します。



9,000  
万円

夜間の訪問介護が  
利用可能に

夜間の定期巡回と通報による随時訪問を組み合わせた、夜間対応型訪問介護サービスを実施する事業者に対して補助を行います。

1,660  
万円

障がいのある方の  
雇用の場を拡大

障がいのある方を雇用し、一定の条件を満たす事業者への補助を3カ所増やします。

障がいのある人が  
働ける場所を増やして!

エルプラザの公共施設で営業している喫茶店で働いています。お客様に「おいしかったよ」と言われることがとてもうれしいです。生活の活動範囲を広げ、そして人の輪を広げていくためにも、障がいのある人が働ける場所が身近にもっと増えると良いですね。

障がいのある方を雇用する喫茶店「キバリヤ」で働く

すずき あきこ  
鈴木 昭子さん



安全・安心、  
環境保全

安全・安心で、  
人と環境にやさしい街

文化振興、  
都市の魅力

文化の薫る、都市の魅力が  
輝き、にぎわう街

4,700  
万円

携帯電話からの119番  
通報の位置がわかります

GPS機能の付いた携帯電話などから119番通報した際、人工衛星を利用しておおよその発信位置が特定できるシステムを導入し、出動時間の短縮を図ります。

230  
万円

生ごみリサイクルを進めます

定山溪地区から出る生ごみを堆肥化する施設の設置を検討するとともに、すすきの地区のビルから出るごみを分別するモデル事業を行います。

1,270  
万円

文化情報ステーション  
を設置

市内で行われるさまざまな文化イベントの情報を紹介する文化情報ステーションを、地下鉄大通駅構内に常設します。



昨年11月のアートステージ開催中には、演劇などの案内コーナーが設置されました

800  
万円

厚生年金会館の存続に向けて  
検討を進めます

そのほか



1億  
4,800  
万円

円山動物園北方圏動物  
展示ゾーン新設

北方圏に住むエゾシカやオオカミなどの迫力ある姿を、間近で見ることができる施設を新設します。

